



2021年7月15日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

アウディの革新的なコンセプトモデル、Spheres シリーズ

- ラグジュアリークラスの新しいデザインに取り組む
- 電気駆動システム、ハイテクインテリア、新しいリースペース
- ブランド戦略を具現、新しい体験を提供する skysphere、grandsphere、urbansphere

(ドイツ本国発表資料) 今後数か月以内に、アウディは3台の革新的なコンセプトモデルを公開することにより、ラグジュアリークラスの未来をどのように描いているのかを説明します。モデル名に含まれる共通のワード「sphere (スフィア)」は、3つのデザインすべてが、新しいインテリアコンセプトと車内での新しい体験のための、包括的なデジタルエコシステムに焦点を当てていることを強調しています。

2021年8月、コンセプト3モデルの第一弾となる Audiskysphere (スカイスフィア) コンセプトが、カリフォルニアでのモントレーカーウィークで初公開されます。そして数週間後、2台目のコンセプトモデル Audi grandsphere (グランドスフィア) が2021年のIAAで初公開されます。さらに、2022年の前半には、Audi urbansphere (アーバンスフィア) が3番目のショーモデルとして続きます。

「これらのコンセプトモデルは、アウディのブランド戦略を具現しており、アウディがプレミアムモビリティの近い将来をどのように描いているかを示しています」と、アウディブランド統括責任者であるヘンリック ベンダーズは述べています。「未来のクルマのインテリアは、旅の途中で人々に新しい体験を提供するためのデザインスペースとなることでしょう。」

アウディは、乗客を包み込むこれらの新しく設計されたクルマのインテリアを「sphere (スフィア: 球体の意)」と呼びます。電気自動車への移行、そして数年以内に自動運転 (レベル4) への移行により、自動車の分野は、これまでになく劇的に変化することでしょう。そして、インテリアと空間アーキテクチャにより、クルマの内部空間が新しい車両デザインの中核となるという、新しいコンセプトも出現します。また、デジタルエコシステムは、クルマを超えたパーソナライズされたサービスを可能にします。

skysphere、grandsphere、urbansphere の3つのコンセプトモデルは、それぞれ、デザインのパラダイムシフトを異なる方法で解釈することにより、ゆるぎないダイナミズム、特徴、さらには長距離の移動を念頭に置いて造られています。いずれのモデルも、乗員のニーズと質の高い経験を満たすことが最上位に置かれています。技術革新、優れた品質の素材、そして製造クオリティがすべての乗員を包み込みます。自由に運転したり、また条件が整えば完全自動運転により、交通、環境、外部からの過剰な刺激を断ち切って、リラックスしたり、情報交換したり、積極的に活動するための自由な空間になります。

新しいショーカーは、これまでの Audi AI:CON* や AI:ME* のようなビジョンカーとは対照的に、遠い未来を見つめてはいません。これら3つコンセプトモデルは、2020年代半ばからアウディの市販モデルとして、新たに登場すると予想されるラインアップ、テクノロジー、そして体験スペースを提示しています。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

* Audi AI:CON (Aicon) 2017

<https://www.audi-press.jp/press-releases/2017/b7rqm000000ewl8.html>

* Audi AI:ME 2020

<https://www.audi-press.jp/press-releases/2020/b7rqm000000umpm.html>